

GFORT 登場！ バンコク & バリ島 (2000/12/28 ~ 2001/01/13)

1. GFORT 登場

2000 年暮れ、バンコク行きのチケットだけを手に、18 日間の海外放浪の旅に出た。

今回の旅はディパックひとつ。荷物が極力ない旅をしてみたかった。だから、いつも必ず持った海外ローミング用のモバイルグッズも、今回ばかりはお留守番である。

その代わりに、新しいマシンを一つだけ持つことにした。

その名は、GFORT。

カシオペア E700 の NTT バージョンである。ウインドウズ CE なので、モバイルギアで使っていたソフトの多くが動作する。

GFORT には、コンパクト・フラッシュのスロットがあるので、購入することに決めたのである。

うれしいことに、IBM のマイクロドライブ 340MB が動作する (結構フリーズしたりするが…)。

これによって、お気に入りの音楽 (宗次郎やさだまさし、陽水、等) を MP3 にして持ち歩くことができた。デジカメで写真を撮りまくっても安心の大容量。むふふ、むふふ。

さらに言えば、文庫本や辞書を持つ必要もなくなった。

小説は、青空文庫をダウンロードしておけばすむし、英和や和英辞書はもちろん標準添付。ゲームもダウンロードしたので、暇つぶし対策もばっちり。

でへへ、でへへ。もう、カンペキ。タマンないっ。

ところが、問題がひとつ。AC アダプターが日本国内仕様だった。がびーん。

トランスを別途購入せねばならぬ。2000 円程度で買えたが、これ、小さい割に重いんです。ああ、やだ。



【GFORT】

2. もはや海外ローミング必要なし

もはや海外でインターネットやメールに不自由することはない、ということが分かった。街のあらゆるところにインターネット・カフェがある。からである。日本でいえば、コンビニを探すような気軽さで、インターネット・カフェを探し当てることができる。

タイのバンコクでは、空港にも、駅にも、街中にも、旅行者が集まりそうなところには、必ずインターネット・カフェがあった。インドネシアのバリ島も同じであった。

それも、そのほとんどで、日本語表示が可能 (インターネット使用時) なのだ。これには本当に驚かされた。今までは、日本語表示がネックとなって断念していた。日本語表示のできないパソコンでは、日本からのメールを読むことができないからである。なんとかよい方法はないものかと考えていたところ、以下の情報が飛び込んできた。

マイクロ・ソフト社から「グローバル IME」という、インターネット・エクスプローラで日本語表示のできるソフトが出ている。うれしいことにフリーソフト。つまり、無料である。これをインストールすれば、どの国のパソコンでも、日本語の読み書きができるのである。

私はこれを、CD-R で持参したのだが、幸か不幸か、ほとんど使うことはなかった。インストールが必要な店は、バリ島のビーチにあった 1 軒だけだった。(もう 1 軒は、インストールを断られてしまった…)

今回の体験から、次のことが分かった。

現在は、世界中どこの都市にもインターネット・カフェがあり、旅行者の多いところは、日本語表示もほぼ OK という状況になっている。日本人は世界のどこでも旅行して歩く「リッチマン」という認識が、もはや定着しているようである。

かくして私は、日本にいるときと全く変わらず、インターネットで新聞を読み、メールの送受信をし、情報のやり取りをすることができたのである。

ちなみに、タイの空港や駅の回線は、ADSL であり、1.5M ビット (ISDN の 24 倍) という高速回線で非常に快適だった。料金は 1 分 5 パーツ (約 13.5 円) と結構高いが、海外ローミング・サービスの接続料 1 分 20 円 (電話代別) よりはずっと安い。

ちなみに、高速回線でなければ 1 分 1 パーツの店もあった。